

令和8年度

徳島県中学校教育課程研究集会

中学校特別支援教育部会

～ Ⅱ部 生成AIを活用した魅力ある授業づくり ～

徳島県立総合教育センター
特別支援・相談課



● AI

特別支援教育における生成AIの活用

部会Ⅱの内容

1 なぜ今生成AIか

- 特別支援教育ワーキンググループにおけるとりまとめ
- 徳島県の生成AI活用方針

背景と国・県の動向

2 自立活動における生成AIの活用

- 教員の事前準備と授業中の役割
- 生徒が個別に生成AIに壁打ちをして考えを深める

授業の具体例

3 実践事例共有

- 授業実践例の共有
- アイディア出し
- 各班で発表

実践アイディアの共有

4 今から使えるAI機能

- 読む・入力するを支える
- プロンプトライブラリの紹介
- 安全に使うための5つのルール

実践への橋渡し

特別支援教育ワーキンググループのとりまとめが示す方向性

次期学習指導要領の改訂に向けて、特別支援学級では、
デジタル学習基盤を生かしながら、一人一人に応じた学びを進めることがより大切になります。

とりまとめで示されたこと

- デジタル学習基盤の活用
- 子ども自身が学びを調整する視点
- 個別最適な学びの拡充

ICTを活用し、
主体的・対話的で深い学びにつなげる

特別支援学級の学びを よりよくするために

- 一人一人に合った学習ツールで支える
- 自立活動と教科の学びを充実させる
- ICTを活用して「できること」を増やす

これらの取組を通して、
一人一人の自立を支える

この流れを受けた授業づくり

- 1人1台端末があることを前提に考える
- ICTを授業の中で生かす場面を広げる
- 生成AIを目的に応じて活用する

徳島県では県域アカウントを導入しています

生成AIは 一人一人に応じた学びを支える



適切に活用すれば、生成AIは、生徒の学びを支える手助けができます。

メッセージ 1

生成AIは、教員の役割を補いながら、
一人一人に応じた支援をします。

メッセージ 2

生成AIは、考えを 広げる / 整理する /
表現する / 対話しながら深める / という役割
を果たします。

生成AIが果たす4つの役割

役割 1

考えを広げる

いろいろな見方や考え方に
気づけるようにする

役割 2

考えを整理する

ばらばらの考えをまとめ、
筋道をたてやすくする

役割 3

表現を整える

自分の思いや考えを、
より伝わりやすい言葉にする

役割 4

対話しながら考えを深める
やり取りを通して、自分の
考えを確かめたり、深めたり
する。

友達に「本をかして」と頼まれたときの、 相手に伝わる断り方を考える

生成AIとの対話を通して、自分が使えそうな表現を考え、
試しながら、自分が見える断り方を決める。



生徒の実態

- ・友達から頼まれると、断りたい気持ちがあっても言い出しにくい。
- ・どう言えばよいか分からず、相手に合わせてしまうことがある。
- ・言い方によっては相手との関係が気になり、言葉を選べずに困ることがある。

自立活動 6区分

人間関係の形成・コミュニケーション
心理的な安定

活用ツール

生成AI(対話の相手として活用)

自立活動の6区分との関係

この授業のねらい

相手との関係を大切にしながら、
自分に合った伝え方で断ることができるようにする。

関係する区分

●人間関係の形成

●コミュニケーション

●心理的な安定



1

自分が言えそうな言葉を選ぶ

提示された表現の中から、
自分が使えそうな言い方を選ぶ。

2

言葉を確認め、整える



生成AIの案を一つずつ見て、
「言えそうか」「相手に伝わりそうか」
を確認め、伝え方を整える。

3

相手との関係を大切にしながら気持ちを伝える

相手との関係を大切にしながら、
自分の気持ちを無理なく伝えら
れるようにする。

生成AIを活用した授業実践例

友達から「その本をかして」と突然頼まれたあなた。
本はかしたくありません。でもなんて言えばいいか分からない……。



場 面

学校生活で起こりうる場面

いつ: 昼休み・放課後・どこ: 教室・廊下・誰: 同級生の友達1名

友達が「この本すごく面白いやつ！かして！」と言ってきた。

実は、いま夢中で読んでいる途中で、かしたくない。

でも、断って友人関係が変になるのも嫌——。

「かせない」とは言いづらい空気が漂う瞬間、自分の言葉で適切に断る力が問われます。



この場面で生徒が感じるであろうこと

「断ったら嫌われるかも」

「でも嘘はつきたくない」——

安心できる友人関係だからこそ生まれる、心理的な摩擦。言いたいことをうまく表現できない生徒にとって、こうした「言い方の微調整」は大きな負担になります。

★ 授業導入時の投げかけ

「断る」ことそのものではなく、
自分が本当に言える言葉を選び・整えるのが
今日の学びです。

「人に合わせる」「かしたくないけどかす」などではなく、
友人関係を維持したまま自分の気持ちを言える表現を、
生成AIと一緒に探求します。

生成AIを活用した授業実践例

- 授業準備（生徒への例示を生成AIを使って作成する）
- 授業（語群から選ぶ→生成AIと壁打ち→自分の断り方を決める→実際に練習する）

先生と生成AIが交互にファシリテーター役を担う
のではなく、生徒が生成AIと壁打ちをしながら主
体的に考えます。

【先生の授業準備】



「友達に本をかせないとき、中学生が使える断り方をできるだけたくさん考えて。短く、優しい言い方で。」



- | | |
|--------------------|--------------------|
| ①「今日はかせないの。」 | ②「これまだ読んでるから。」 |
| ③「明日ならかせるよ。」 | ④「読み終わったらすぐ声かけるね。」 |
| ⑤「今日は無理だから、また今度ね。」 | ⑥「人にかすのは嫌だからかせない。」 |
| ⑦「先生に相談してみよう。」 | |



「うん、これなら選べそう。」
「提示が多すぎても選びにくいだろうから、3つに絞っておこう。」

※先生が事前に選択肢の質を確認し、授業で使える語群を準備します。

生成AIを活用した授業実践例

【授業中】



友達から「本をかして！」と突然頼まれたけど、断りたい時はどうする？ ワークシートの語群から選んでもいいよ。



①「これまだ読んでるから。」 ②「人にかすのは嫌だからさせない。」 ③「読み終わったらすぐ声かけるね。」かあ。
わかるけど、②は自分には言えないなあ。①がいいけど、これもちょっと言いづらいなあ。。



じゃあ生成AIに聞いてみよう。いろんな言い方を提案してくれるよ。〇〇な言い方を〇〇個教えて、って聞いてみよう。



友達に断るとき、「これまだ読んでるから。」って言いたいけど、もっと優しく言う言い方ない？ 3つ教えて。



①「まだ読んでるから。大事にしてる本だし。」 ②「今読んでて面白いところだからさせないなあ。」 ③「読んだら言うね。」



どれか自分が言えそうなものはあった？



①がいいけど、まだキツイ言い方やなあ。もっと優しい言い方ある？



「ごめんね。まだ読んでるし、大事にしてる本だからさせないんだ。」



これなら言える。「ごめんね。まだ読んでるし、大事にしてる本だからさせないんだ。」と言います！



いいね！『ごめんね』って最初に言えたね。理由も2つ伝えたから友達も分かってくれやすいね。
では、自分が決めた断り方で、実際の場面を想定しながら練習してみよう！

生成AIを活用した授業実践例

【授業中】



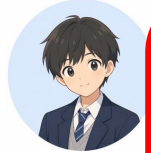
友達から「本をかして！」と突然頼まれたけど、断りたい時はどうする？ ワークシートの語群から選んでもいいよ。



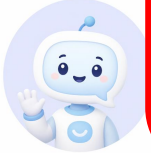
①「これまだ読んでるから。」 ②「人にかすのは嫌だからさせない。」 ③「読み終わったらすぐ声かけるね。」かあ。
わかるけど、②は自分には言えないなあ。①がいいけど、これもちょっと言いづらいなあ。。



じゃあ生成AIに聞いてみよう。いろんな言い方を提案してくれるよ。〇〇な言い方を〇〇個教えて、って聞いてみよう。



友達に断るとき、「これまだ読んでるから。」って言いたいけど、もっと優しく言う言い方ない？ 3つ教えて。



①「まだ読んでるから。大事にしてる本だし。」 ②「今読んでて面白いところだからさせないなあ。」 ③「読んだら言うね。」



どれか自分が言えそうなものはあった？



①がいいけど、まだキツイ言い方やなあ。もっと優しい言い方ある？



「ごめんね。まだ読んでるし、大事にしてる本だからさせないんだ。」



これなら言える。「ごめんね。まだ読んでるし、大事にしてる本だからさせないんだ。」と言います！



いいね！『ごめんね』って最初に言えたね。理由も2つ伝えたから友達も分かってくれやすいね。
では、自分が決めた断り方で、実際の場面を想定しながら練習してみよう！

生成AIを活用した授業実践例



生成AIは「答えを出す機械」ではなく、 生徒の思考を4方向から支援する壁打ち相手

考えを広げる・考えを整理する・考えを表現する・対話しながら考えを深める —— この4つが一体で働きます。

1 考えを広げる

自分ではなかなか思いつかない生徒に対して、生成AIが複数の言い方を提案する。生徒はそれらを見比べながら、自分に合った言い方を選んだり考えたりすることができる。

この授業での働き 生成AIが、長さや丁寧さの違う複数の案を示してくれる。
生徒はそこから自分に合った言い方を選ぶことができる。

2 考えを整理する

生成AIが出した複数の案を、「先に理由を伝える言い方」「相手との関係を大切にする言い方」など、生徒の思いが分かるかたちで整理する。

この授業での働き

伝え方の特徴ごとに、生成AIが複数の断り方を提示する。
それぞれの違いが分かりやすくなり、自分に合った言い方を選びやすくなる。

3 考えを表現する

生徒が選んだ1案を、別の語彙・長さ・トーンに言い換える。
同じ意味のまま、友人関係を守る言い回しのバリエーションを体感させる。

この授業での働き 「このセリフを、もっと優しく言う言い方を3つ教えて」と
生徒がプロンプトを出し、3つの優しい言い換え案を受け取る。

4 対話しながら考えを深める

生成AIを活用することで、『どう言えばいいか分からない』が
『こう言う！』に変わる。

この授業での働き

生成AIが示した案を見比べながら、
自分が使いやすい言い方を選んだり、考えたりすることができる。

生成AIは「壁打ち相手」

生成AIを授業で活用する時に大切な3つのこと



生成AI

壁打ち相手

1

答えを教える**道具**ではない

生成AIの出した言葉がゴールではなく、選択肢の提示こそが役割

2

考えることを**加速**させるパートナー

生徒が「自分の答え」にたどり着くまでの距離を短くする

3

生徒が**自分の言葉**を見つける支援者

最終的に「自分のもの」になるのは、生徒の側の言葉

実践事例共有の協議手順

- ①自己紹介・役割決め
- ②自校の実践紹介（全員）
- ③チーム協議（まとめ）
- ④発表（1班につき3分以内）

☆全ての班が発表します。

全てのプロセスで
明るく健全な雰囲気
づくりが大切！

笑顔 = チームの質



協議グループ

①	②	③	④
12	34	56	78
910	1112	1314	1516
17			

① 自己紹介・役割決め

1. 自己紹介(20秒程度)
2. 役割を決める

- ・司会者
- ・発表者
- ・記録者

※他に必要な係があれば適宜決めてください。

※なかなか決められない時は、
あいうえお順で「あ」に近い
人から、
司会者→発表者→記録者、などとする。



② 自校の実践紹介（全員）



生成AIを活用した魅力ある授業づくり ～主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～

- 各校、各自の実践を話してください。
- （それを受けて）疑問に思ったことなどは、質問してください。
- 関係する良い案があれば、話してみてください。

＜ルール＞

- 質問は、簡潔に短く。
- 良い雰囲気作りに努める。

＜してはいけないこと＞

- 先生の指導の在り方などを問うこと。



③ チーム協議(まとめ)

チームで出た事例・アイデアをまとめましょう

- ・明日からすぐ使えそうなアイデア
- ・生徒も先生もハッピーなアイデア

とりいれたい！
やってみたい！
こんなことなら
できそう！



実現できるかどうかはひとまず置いておいて、可能性としてどんどんアイデアを出していこう！

④ 発表

15:35～

発表係が発表します。

概要を2分程度で発表してください。



— 読む・入力するを支える —

読み仮名を自動でふる Webアプリ <https://accessreading.org/>

 ホーム 音声教材について お役立ち 活動 [登録・申請](#) [マイブックス](#) [お問い合わせ](#)

文章にルビを振る

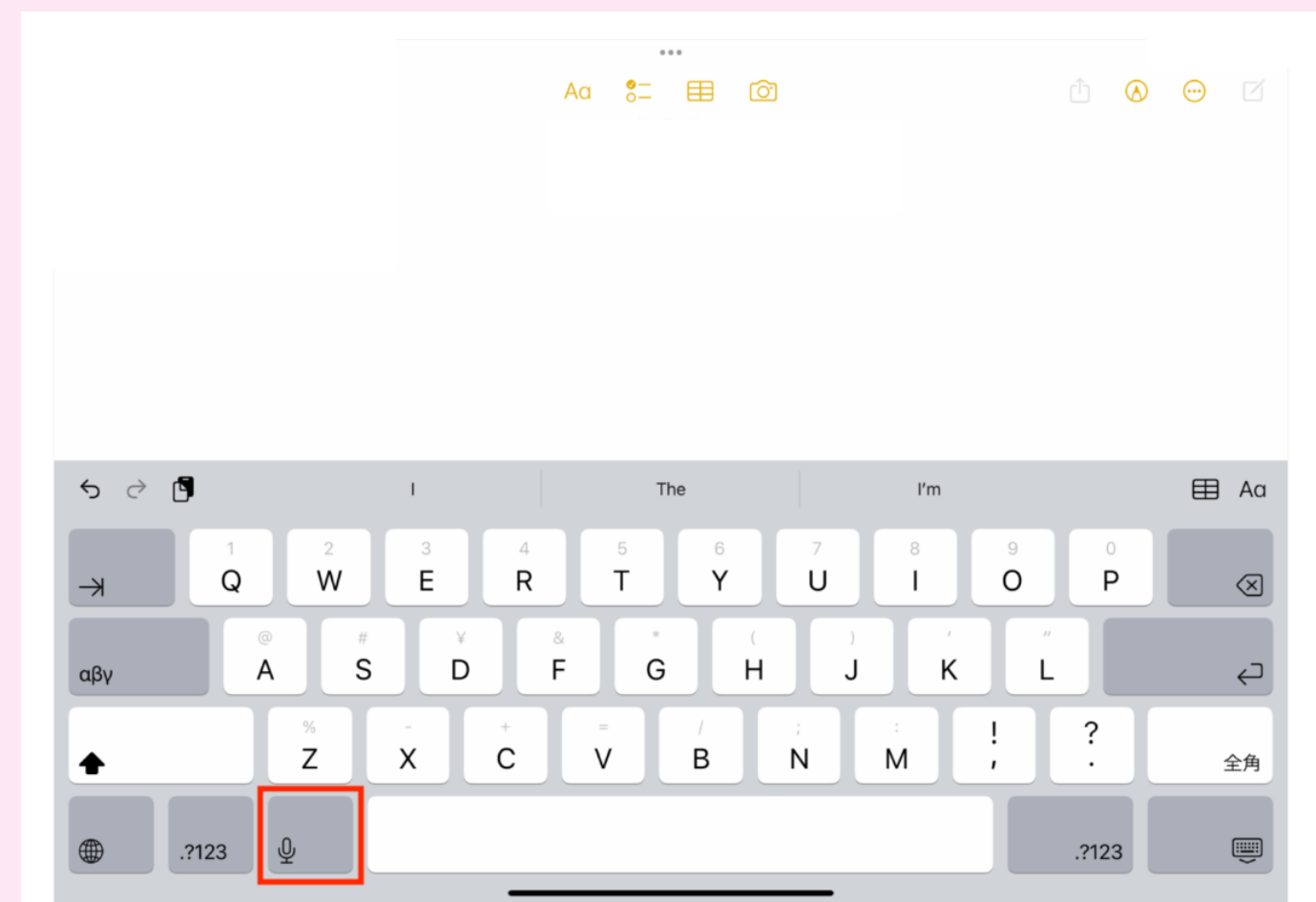
コピー＆ペーストしたテキストに含まれた漢字に、学年を指定してルビをふったり、わかち書きできるページです。
AccessReading事務局にコピー＆ペーストした情報が送信されることはありません。
「文章にルビを振る」ページの使い方を、AccessReadingの公式YouTubeチャンネルで公開しています。

[「文章にルビを振る」ページの使い方動画を見る](#)

AccessReadingでは、特別支援教育ニーズのある小学校高学年、中学生、高校生向けに **音声教材** も製作・提供しています。

変換したい元の文章を以下のテキストエリアに入力して下さい

音声入力



Google

Google で検索または URL を入力



AI モード

—プロンプト ライブラリ 紹介—

明日から使える プロンプト集を 2つ ご紹介します

OFFICIAL・文科省

学校のためのプロンプトライブラリ

<https://sites.google.com/hyokyo-ai.com/assistai-prompt/top>



Google NotebookLM

学校のための
プロンプト ライブラリ

2026 年 4 月

EDUCATION・教育向け

アシストAIプロンプトサイト

<https://sites.google.com/hyokyo-ai.com/assistai-prompt/top>



本サイト"特別支援教育アシストAIプロンプトサイト"は、特別支援教育に携わる先生方の日々の授業準備や指導・支援をアシストするAI活用のためのプロンプト発信サイトです。



コピー＆ペーストで手軽に生成AIを活用できる！
多数の生成AIプラットフォームに対応したプロンプト
スマホ、タブレット、PCにマルチ対応したサイトです

生成AIを 安全に使う ための 5 つのルール

先生方も生徒も、この 5つのルール は、必ず守るようにしてください。

1



個人情報を入れない

本名・住所・学校名・成績・写真など、自分や他人が特定される情報は絶対に入力しない

2



自分で考える

生成AIに頼りすぎず、自分の考えを大切にする

3



教科書などで確かめる

生成AIの答えが正しいか確認する(ハルシネーション対策)

4



先生が必ず確認

最終的な内容は、教員が必ず目を通す = 生徒だけで完結させない

5



人の作品を大切にする

著作権に注意し、絵・写真・文章など、勝手に使ったり真似したりしない

引用参考文献

01

第9回 特別支援教育ワーキンググループ の検討事項

中央教育審議会・特別支援教育WG / 令和8年5月28日

02

初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン Ver. 2.0

文部科学省 初等中等教育局 / 令和6年12月26日

03

校務における生成AIの活用について

徳島県教育委員会 / 令和7年3月

04

生成AI利用に関するFAQ(職員向け:第2版)(生徒・保護者向け:第2版)

徳島県教育委員会 / 令和7年10月

05

小中学生のための Gemini パスポート

2025年8月